

「ふるさと」でウクライナ支援

アンコールでウクライナ国歌を披露する出演者ら。知立市の知立リリオ・コンサートホールで



盛況 知立のチャリティーコンサート

県内の声楽家とピアノスト有志による「ウクライナ難民支援チャリティーコンサート」が八日、知立市町の知立リリオ・コンサートホールで開かれた。ロシアの侵攻を受けたウ

クライナの人々を支援しようとして、愛知教育大（刈谷市）で声楽と音楽教育を指導する林剛一教授（六〇）が中心となって企画し、同僚や教え子らに出演を依頼した。林さんを含

む声楽家六人と伴奏を務めるピアノスト三人が、日欧の歌曲、オペラのアリア（独唱）や二重唱計二十二曲を二百人余へ届けた。アンコールは、全員で「ふるさと」やウクライナ国歌な

ど三曲を披露した。出演者は無報酬。ホールも趣旨に賛同し、施設やピアノなどの利用料を無料にしている業者が無償で担った。林さんは「同じ志を持つ演奏家は周りにも多くいる。チャリティーに協力してくれる会場があれば、一回で終わらせず今後も継続していきたい」と話した。

入場無料で、設置した義援金箱に五十一万三千八百六十二円の善意が寄せられた。ウクライナの子どもたちのために全額を日本ユニセフ協会へ寄付する。

（神谷慶）